

スマート農業の可能性を実証

たくさんの優秀活動事例が表彰されました。山口市では吉敷畑集落協定が山口県日本型直接支払い推進協議会長賞の受賞(11月6日)

「農村環境の未来を考える研修会」は毎回日本全国から素晴らしい先進事例を紹介してくれます。第12回となった今回は近未来の農業を予感させる、スマート農業の導入による農林作業を

見せて頂きました。



岡山県真庭市は木材をエネルギーとする「バイオマス発電」で全国的に有名です。環境問題に真正面から取り組み、むように、間伐材の燃料化に取り組み、各地にペレットストーブを普及させて

ラジコンで草刈りの到来か



農作業の中でも最も骨の折れる仕事は草刈りです。その作業を省力化するための「ラジコン草刈り機」でした。少々斜面でも、がけっぷちでも人の安全は確保されます。しかし、安いものでも100万円程度はしますから、そう簡単には購入できません。しかし、炎天下の作業の辛さを考えると、導入を県とする価値は在るのではないのでしょうか。

また市内の農事組合法人寄江原では、岡山県、真庭市などの行政、岡山大学、農業協同組合や農機具メーカーなども交えた共同研究組織(コンソーシアム)を編成しています。そこでは圃場管理システムとして、自動操舵トラクターや直線キープ田植

最後に農機具メーカーの新しい技術の紹介がありました。どれも驚くようなものばかりでした。

得意な木材だけでなく農業においても、標高差を利用し、作業日時をずらすことで大型農業機械の共同使用を可能にした事例や、漁業者と連携してカキの殻の再利用を図り、土地改良剤として使用することで「真庭里海米」として提供しています。

まだまだコストの問題はありますが農作業のイメージをひっくり返すような大きなインパクトがありました。またまだコストの問題はありますが農作業のイメージをひっくり返すような大きなインパクトがありました。

います。そうした取り組みから持続可能な目標を持った未来杜市真庭を掲げています。

え機などを導入しています。その結果、誰もが田植え機を運転し、直線的な田植えが可能になりました。また圃場の水管理システム「ワタラス」では入水から排水まで自動管理が可能になり、スマホで官吏ができるようになっていきます。



毎年とても寒いので温かくして起こして下さい

だいがら・杵・臼
伝統的な餅つき体験を

可愛い命と仲良く暮らしましょう



11月16日、八方原地区振興会議が行われました。この会議は地域内の各団体の責任者が集まって、さまざまな課題を話し合います。

事業所の方々からは、地域内の排水の懸念が示されています。今年も、一時的に市道が冠水してしまい、通勤できなくなるような事態もありました。市とも相談しながら改善策を探りたいものです。

自治会に寄せられているもう一つの課題は「ペットのマナー」の問題です。地域内には、犬や猫などたくさん可愛い命があります。しかし、それらの糞尿もその数に比例して多くなり

ます。

地域内の農道は格好の散歩コースですが、たくさんの糞がそのままになっています。多くの人は糞を持ち帰っていますが、中には放置したり、傍の田んぼや畑に投げ込んでしまう人もおられます。猫についてはトイレの場所をしっかりと教えれば、必ずそこにするようになるはずですが、

また他の家の倉庫など出入りが比較的緩い場所を睡眠所にしたたり、きれいに耕された畑を「専用」のトイレにしてしまうなど、お困りごとが相次いでいるなど、会議では厳しい意見が相次ぎました。

農道除草作業にご参加を

昨年同様、冬のこの時期に農道の除草清掃の共同作業を行います。農家、非農家を問いません。共同作業です。で、日当の支払い対象作業です。

作業に必要な道具はいくらか用意しています。ご自身で使いやすいものをご用意下さい。

ご参加の方は当日会場にご参集ください。

第1回目

【日時】 12月22日(日) 8時30分

【場所】 農事組合法人倉庫入り口

【会場】 「ぬくもり山口」の駐車場

【日時】 12月15日(日)
午前9時ごろ開始
4白を予定

餅つき体験大会を開催します。八方原産のもち米で、杵臼やだいがらを使った昔ながらの餅つきを体験できます。今年も福祉施設「ぬくもり山口」の駐車場で行いたいと思います。参加は自由です。参加費などは不要です。参加された方にはそれぞれお土産として搗きあがったお餅を差し上げます。

一台5役のスーパートラクター



子どもたち走り回ったので、畔がちょっと傷んで

冬の農作業が始まりました。刈り取りを終えた田んぼには、まだ稲の株が残っていますが、強力で高機能のトラクターが麦を植えていきます。

耕うん、畦立て、種まき、施肥、最後に種の上に土をかぶせ、しっかりと抑えつける作業を一度にこなしています。

それまでには、水捌けを良くするための土中の水路の作成や、土壌改良のためのミネラル分の補強も行われています。

この麦の植え付け作業は、見ていると不思議な気がするほど、鮮やかに作業が進みます。子どもたちもその様子が気になって仕方ないのでしょうか。作業をいつまでも見守っていました。